

山形大学附属学校園だより 六 稜

2016.3.4

【発行】
山形大学附属学校園

【印刷】
坂部印刷株式会社



「なかよくすごろくをしようね!」(幼・小交流・1月)

その意味で、附属学校園は大学の誇る地域の宝であります。少子高齢化の進む現在、附属学校園の置かれる位置は大変難しいものがあります。今後ともご支援を賜りますようお願いいたします。

また、グローバル化の進展著しいわが国の未来の教育を先取りして、幼稚園段階から英語の学習機会を設けるなど、新しい時代の要請にも応えようとしています。

ご承知の通り附属学校園は、地域のモデル校として、地域の教育を支える重要な役割を果たしております。公開研究会による最先端の授業開発の成果の共有などを通じ、地域における教育の質の向上を先導する役割を担っております。

本学の附属学校園は大学附属の学校園として、附属学校運営部のもとに四校園一体的に運営されております。

保護者の皆様におかれましては、日頃より附属学校園の運営のために多大なるご支援をいただきありがとうございます。



山形大学理事
阿部 宏 慈

保護者に伝えたいこと

私は、運営副部長を含めて三年間、運営部でお世話になりました。このたび、運営部長としての任期半ばで退任することになりました。これからは、大学での異なる立場から、前段で述べた関係性を構築できるよう、努力していく所存です。最後に附属学校園の益々のご発展をお祈り申し上げます。

また、現在、附属学校園の存在意義をさらに明確にするために、新たな工夫が必要になっております。その鍵は、四つの学校園があるメリッ トと大学附属である売りを活かし、学校園間、教員同士、地域として大学との協働を実現することにあると思っております。

今年度、附属小学校の耐震改修工事が終了しました。これもPTAの皆様をはじめとする関係各位のご協力のおかげと感謝申し上げます。附属学校の教育には、時代の要請に対応する教育内容と教育環境等の整備拡充が つねに求められており、これからの計画的に取り組む必要があります。

附属学校園のPTAおよび同窓会の皆様には、平素から格別のご支援とご協力をいただき、あらためて御礼申し上げます。



附属学校園運営部長
出口 毅

運営部長退任にあたって

本年度で最終年次となる研究主題「対話力をみがき、実践力を高める授業のあり方」のもと、5月28日・29日に学習指導研究協議会を開催しました。6月の市中体連では陸上男女総合第二位となり、個人種目では延べ29名が入賞しました。剣道女子で、3年小松礼さんが東北第2位でした。文化面では、3年小佐野きりさんが「青少年読書感想文山形県コンクール最優秀賞」や「税についての作文国税庁長官賞」を受賞したのをはじめとし、様々なコンクール等で生徒の活躍がありました。以下には、今年度の主なPTA活動を掲載いたしました。山形大学附属中学校PTAの皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。

研究テーマ「対話力をみがき、実践力を高める授業のあり方」

- 主な行事と日程
- 4月28日 PTA総会、歓迎迎会
 - 5月7日 開校記念式
講演者 菅野 滋氏 (山形県教育委員会教育長)
 - 6月27日 校舎周りの草刈り
 - 7月7日 大運動会
 - 8月29日 PTAソフトバレーボール大会
 - 10月1日 附中だより138号発行
 - 10月11日 山一中ソフトボール大会
 - 11月7日 校舎窓拭き作業
 - 3月15日 附中だより139号発行

今年度は、生徒会で考えたスローガン「明るいスマイル みんなであいさつ」のもと、全校であいさつ運動に取り組んでいます。学校だけでなく家庭でのあいさつもがんばっています。

また、各学部で、地域に行ったり地域の人と一緒にしたりして、いろいろな活動をしています。小学部には、月1回蔵王地区の読み聞かせボランティア(絵本の先生)が来ます。中学部は、就業体験学習の奉仕活動として飯田の西の前公園の掃除に取り組みました。高等部は、蔵王コミュニティセンターの掃除に取り組んだり、蔵王地区祭りに参加したりしました。地区祭りの作業製品の販売活動では、毎年買ってくださるお客さんも増えてきました。昨年度からは、蔵王地区の老人会「いきいきサロン」に参加し、お年寄りとの交流も行っています。

研究テーマ「豊かな生活につながる「分かる」「できる」「楽しい」授業作り(2年次) ~教育的ニーズシートによるRPDCAサイクルの実践~

- 主な行事と日程
- 4月29日 PTA総会
 - 5月11日 創立記念式
 - 5月23日 ふれあい運動会
 - 10月31日 PTA親子レクリエーション
 - 11月20日 公開研究会
 - 1月30日 ふれあい祭

今度も、附属学校運営部のご指導を賜り、それぞれの学校園が特色を生かしながら、連携を深めていきたいと思っております。附属学校園運営部、学校園の先生方、保護者の皆様にご感謝申し上げます。編集後記と集後記といたしまして、



編集委員

- 神尾真帆・長谷川美穂(幼)
- 下山久美子・大谷江里子(小)
- 橋本いずみ・安日明子(中)
- 柴田朋美・橋本祐子(特)



附属中学校

今年度の附属学校園

本園は、『こころふれあい、のびるよるこび、えがおうれしい幼稚園』をめざし、遊びを通して生きていく力を育む保育を行っています。

今年度は、「ふようキッズくらぶ」として大学等と連携した体験活動の充実を図りました。英語や外国の文化に親しむ「ワールドくらぶ」、食育や運動能力向上に關した「げんきくらぶ」、科学や自然の不思議にふれる「ふしぎくらぶ」です。専門家と遊びながら本物に触れ、より保育が豊かになりました。今後も、子ども達の探究心が育まれるよりよい環境を創っていききたいと考えています。

研究テーマ「幼児期に育てたい言葉」

- 主な行事と日程
- 4月23日 PTA総会
 - 5月9日 親子園外保育
 - 6月5日 公開研究会
 - 6月26日 創立記念式
 - 9月19日 運動会
 - 12月4・11・17日 ステージフェスティバル
 - 2月19日 さくら組さんありがとうの会



附属幼稚園

平成25年度から始まりました校舎の耐震化改修工事が、秋に終了しました。10月13日に、記念式典とOGの大和香名子さんを招いてのスクールコンサートを開催し、子ども達とともにお祝いしました。そして、11月には、2年ぶりに公開研究発表会を2日間に渡って開催し、研究成果を県内外へ発信することができました。

また、昨年度末で5・6年複組が閉級し、複組は3・4年複組のみとなりました。各学年の定員も102人となり、全学級34人以下の少人数学級編制に完全移行しました。一人ひとりを大切に教育を、これからも続けていきたいと思っております。

研究テーマ「学び続ける子どもの育成」

- 主な行事と日程
- 4月24日 PTA総会 歓迎迎会
 - 5月20日 開校記念式
 - 6月27日 PTAレクリエーション大会
 - 9月12日 みのりスポーツフェスティバル
 - 10月11日 一中学区ソフトボール大会
 - 10月23日 校舎改修落成記念式・スクールコンサート
 - 10月25日 市P連ソフトボール大会
 - 11月12・13日 公開研究発表会
 - 2月26日 6年生を送る会



附属小学校

山形大学附属学校園だより「六稜」第八号をお届けいたします。今年度は、大村・梶田両氏がノーベル賞を受賞しました。また、ラグビーのワールドカップにおいて日本が歴史的な勝利を収めるなど、世界の舞台で日本人の活躍が光った年でした。附属学校園では、小学校で校舎改修工事が終わり、新校舎での新しい生活が始まりました。また、附属学校園間の交流も本誌掲載の通り、ますます深まりを見せております。

編集後記



ふれあい祭(特PTA)



運動会(中PTA)



ソフトバレーボール大会(小PTA)



ふよう夏祭り(幼PTA)

PTA活動

特別支援学校は、小学部・中学部・高等部と児童生徒の年齢が幅広く、それぞれ保護者の考え方、とらえ方が違う中でPTA活動となっておりますが、「子供たちの笑顔のために」教職員と共に活動を展開しています。

年間のPTA活動は例年どおりのかたちではありましたがそれぞれのニーズに合わせて施設見学など、会員それぞれが満足できるものに変わってきております。これも偏に各部を担当いただく会員の力だと思えます。また昨年には地域町内会の方々と信号機設置の要望書・署名活動を行い十二月に無事設置されました。この信号機が設置されたことにより地域住民の方々の安全確保・児童生徒の通学はもとより、人との関わりが大事な生徒たちが安全に広く校外学習を行うことができるようになったのも会員が力を合わせ子供たちの笑顔のために協力してきたことがかたちになったものと思えます。

最後に私事ではありますが、春には子供もこの学校を卒業し私もPTA活動から離れております。

附属特別支援学校PTA会長 佐藤 隆成

PTA活動報告

本校PTAは、四つの専門部と母親委員会が、年間の活動計画を策定し評議員会で協議し、総会での承認のもと活動を行っています。総務部は、歓迎会や各学年毎の懇親会などの企画運営、広報部では年二回の「附中だより」の発行をしています。また、施設厚生部は学校全般の環境整備、体育部は運動会への協力、PTA親善球技大会などの運営を行っています。母親委員会では、各種研修会への参加・運営や、制服バザーの開催などの活動を行っています。

このような活動を通して、様々な地区から通う生徒たちの学校生活を支えていると同時に、先生方と保護者間の交流も深められています。複雑化した現代社会の中で、これからも学区を越えた附中PTAのより一層の「つながり」をのぞむところがあります。ふりかえりますと、私は子どもの幼稚園入園から十二年間PTA活動に携わってまいりました。この春、子どもの中学卒業とともに一区切りをむかえます。これまでご指導いただきました先生方、ご協力いただいた保護者の皆さまに心より感謝申し上げます。

附属中学校PTA会長 中村 篤

PTAのつながり

平素よりPTA活動へのご理解とご協力厚く御礼申し上げます。

当校のPTA活動は、学年PTA活動を行う評議員と総務部、会計監査の監事、内対外スポーツ関係の保体部、附小だより編集発行の広報部、保護者の研修会等の企画運営の研修部と母親委員会、登下校等安全指導の安全部そして学年保護者会によるアルパム委員があります。また、安全部の補助や校舎の清掃などを行う全員参加型の活動があります。今年度から全学年が、各クラス34人学級になり、保護者一人一人がより学校に身近に感じられるようになりました。歓迎会の運営や学年対抗のソフトバレーでは各役員さんのエネルギーが感じられ、研修会では子どもに密接に関わっている素晴らしい講演会、附小だよりにおいても見易く、よく考えられた構成、登下校の指導でも子ども達への温かい眼差し、一人一人のお子さんをずっと見てきているアルパム作成など、どの委員会の運営も陰に日向に保護者の皆さんの心が込められています。

PTA活動を通して、学年内・学年間の保護者のつながりを創ることを目的にしております。これからも皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

附属小学校PTA会長 菊地 康倫

PTA活動のこころ

今年度も保護者と園が一体となり、共に成長、共に創造を目指し、子ども達のすこやかな成長や学び、気づきに繋がるように一人一役、全員参加のPTA活動に取り組んでおります。

夏にはふよう夏祭り、秋には芋煮会、行事部では運動会、雑煮会食のお手伝い、広報部では広報誌の編集や発行、図書部では学級分冊貸出や新刊本登録等の活動を行って参りました。役員の方々を始め、保護者の皆様にはたくさんのご協力を頂き、今年度も大成功に終了しております。

特にふよう夏祭りや芋煮会では保護者の皆様にとっても子ども達の成長や、園での生き生きとした様子を肌で感じられる貴重な時間となったのではないのでしょうか。

また今年度から、行事部、図書部、広報部の専門部の活動を見直し、広報誌については年一回のスリム化を図りました。また三役が中心となり、カンガルーシブ助成を有効に活用し、特別支援学校の児童生徒さんとの交流を、より進めた事も特色と言えるかと思えます。

来年度については、園の体制も大きく変わる節目の年となりますので、PTAとして園と共に時代の変化にも対応しながら、より良い運営の在り方を今後とも進めて参ります。

附属幼稚園PTA会長 菅野 佑吉

附属幼稚園PTA活動



第75回全国教育美術展 特選「ひみつのおかしパーティー」 附小2年 柴崎香凛さん



いっしょにすべろう！(小・特)



音楽交流会(中・特)



合唱交流会(小・中)



運動会ボランティア(幼・中)



高等部ハートバザー(幼・特)

交流学习の様子